

日本機械学会 2008年度年次大会特別企画
日本機械学会・日本工学アカデミー合同シンポジウム

「温室効果ガス排出削減への展望」

日本機械学会、日本工学アカデミー共催
平成20年8月4日(月) 13:00~16:30
横浜国立大学常盤台キャンパス 教育文化ホール
(http://www.ynu.ac.jp/access/acc_10.html)

1. シンポジウムの趣旨

地球温暖化の影響と思われる気候変動が大きな問題となっている中、京都議定書における目標達成時期を迎える。また、ポスト京都議定書に関する議論も盛んに行われ、平成20年7月に予定されている洞爺湖サミットにおいても、地球温暖化の問題が一つの重要課題として取り上げられる見通しである。

地球温暖化対策は、国全体を束ねる総合的な取り組みと、様々な立場からの多岐に亘るアプローチが必要である。例えば行政による各分野に対する目標の提示やそれらのマネジメント、各分野や各企業単位の目標に向けた取り組み、国民一人一人の意識改革と地道な実践、それらを支える技術の改善、新技術の開発等々、どれが欠けても十分な成果が得られない。

その中で本シンポジウムでは、国全体がおかれている立場や国の方針など包括的な状況を理解した上で、地球温暖化に大きな影響を及ぼすと思われる分野における技術やシステムの開発に焦点を当て、これまでの成果、今後の展望と課題、科学技術政策への提言等について議論を展開する。

2. プログラム

(1) 地球温暖化対策の取り組みと課題

環境省地球環境局 総務課長 梶原成元 氏

(2) 温室効果ガス排出削減のための省エネルギー対策

経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー対策課長

(3) 原子力発電技術の展望と課題

(株)東芝 電力システム社 統括技師長 須藤 亮 氏

(4) 自動車における温室効果ガス排出削減技術の開発

(株)コンポン研究所顧問 井上恵太 氏

(5) 温室効果ガス排出削減に向けた冷凍・空調システムの開発の展望

(株)日立製作所機械研究所 松島弘章 氏

(6) 持続型成長を支える水素エネルギー

横浜国立大学大学院 教授 太田健一郎 氏 (水素エネルギー協会前会長)

3. 参加費等

日本機械学会2008年度年次大会参加登録者および日本工学アカデミー会員：無料
学 生：無料 (ただし学生の方は混雑時席をお譲り下さい。)

(参加者には講演内容を記した資料集を配布いたします。(無料))